

かんきょう観察会報告 No. 135

活動グループ名：板橋区の蝶を調査する会

観察日時：2020年11月8日（日） 午前9時30分～12時

観察地域：西高島平駅～大宮バイパス歩道～荒川笹目橋堤防南斜面～笹目橋堤内地

参加者：長澤、神山、川口、佐藤、山田、山下、浅原、荘司、鈴木（環境政策課）（計9名）

当日の天気：晴、暖かい日より

観察結果

シロチョウ科

- ①キタキチョウ
- ②モンキチョウ
- ③モンシロチョウ

タテハチョウ科

- ①キタテハ
- ②ツマグロヒョウモン
- ③ヒメアカタテハ（成虫・幼虫）
- ④ヒメウラナミジャノメ

シジミチョウ科

- ①ウラナミシジミ
- ②ベニシジミ
- ③ヤマトシジミ（低温期型含む）

セセリチョウ科

- ①イチモンジセセリ
- ②チャバネセセリ

観察概要

今日は、晴れて暖かな観察日となりました。午前9時30分に西高島平駅から出発しました。大宮バイパスの歩道を歩きながら、植え込みに生育しているエノキ・クスノキ・ヨモギ等に幼虫が付いていないか、セイタカアワダチソウ等に蝶が吸蜜していないかを観察しながら荒川の笹目橋に向かいました。歩道周辺で観察出来たのは、キタキチョウ・ヤマトシジミでした。

10時に笹目橋の下流側に到着し、土手の南側斜面の観察を始めました。ここではコセンダングサの黄色い花が一面を覆うくらい咲き誇っていて、この花の蜜を吸いに多くの蝶達が飛び回っていました。ここで確認できた蝶は、キタキチョウ・モンキチョウ・モンシロチョウ・キタテハ・ツマグロヒョウモン・ヒメウラナミジャノメ・ヒメアカタテハ・ウラナミシジミ・ベニシジミ・ヤマトシジミ・イチモンジセセリ・チャバネセセリの12種となりました。ヤマトシジミは低温期型も見られました。バッタ類も多く飛び回っていて、トノサマバッタ・オンブバッタ・ツチイナゴ等が見られました。

10時45分に堤内地の土手下に移動しました。堤内地ではコセンダングサのほかにセイタカアワダチソウ・オギ・セイバンモロコシ等で賑わっていました。この辺りで観察出来た蝶は、モンキチョウ・モンシロチョウ・キタテハ・ヒメアカタテハ・ウラナミシジミ・ベニシジミ・ヤマトシジミ・チャバネセセリでした。その他の昆虫としては、アキアカネ・クズの葉に集団でいるジュウジナガカメムシ・ハラビロカマキリ・ナナホシテントウ・ハグロハバチ幼虫・ヨモギエダシヤク幼虫等が観察出来ました。

昼食後12時に解散しました。今年の台風による浸水の影響は、この時期になるとあまり感じられない状況と思われました。なお、解散後の帰る途中で、ヨモギの葉の中にヒメアカタテハの幼虫・エビガラスズメの幼虫を見つけました。

2020年11月8日(日) 観察写真



キタキチョウ



モンキチョウ



モンシロチョウ



キタテハ



ツマグロヒョウモン♀



ヒメアカタテハ



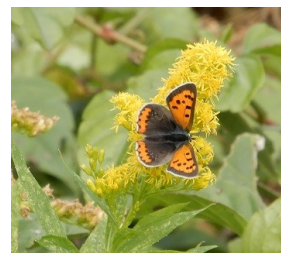
ヒメアカタテハ (幼虫)



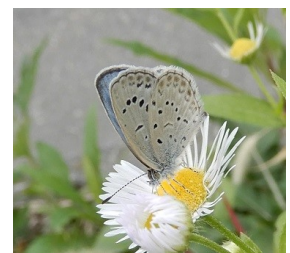
ヒメウラナミジャノメ



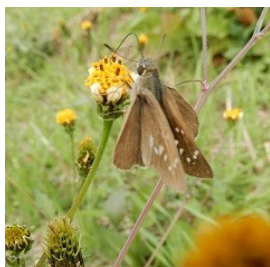
ウラナミシジミ



ベニシジミ



ヤマトシジミ



チャバネセセリ



ハグロハバチ (幼虫)



ヨモギエダシャク (幼虫)



エビガラスズメ (幼虫)